

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和 6 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 8 回）	
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 25 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員 9 名、事務局 3 名、関連部署職員 5 名、コンサルタント 1 名、合計 18 名 【欠席者】 3 名	
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 （1）瑞穂町子ども計画素案に対する意見募集結果について （2）瑞穂町子ども計画案について （3）第 2 期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況報告について 4 その他 5 閉 会	
傍 聴 者	2 名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 ・ 【資料 1】 瑞穂町子ども計画素案に対する意見の概要と町の考え方 事前配布 ・ 瑞穂町子ども計画（案） ・ 瑞穂町子ども計画概要版、わかりやすい版、やさしい版 ・ 瑞穂町子ども・若者の生活実態調査報告書 ・ 第 2 期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況管理票	
会 議 内 容 （主な意見 等を原則と して発言順 に記載。）	1 開 会 （会長）  2 あいさつ （会長）	<p>本日の出席委員は 9 名。瑞穂町子ども・子育て会議条例第 7 条の規定に基づき、半数以上の委員の出席により、会議は成立となるのでこれより開催する。</p> <p>改めましてこんばんは。最近寒い日が続いていました。今日は暖かい南風が入ってきて、春が近づいている、と嬉しくなりました。先日、孫と瑞穂のつるし飾りを見に行ってきました。孫に動物等の飾りの説明をしていくと、孫の見る目がどんどん変わってきて、最後には色々質問された。ただ見せるだけでなく、一言添えて話をすることは、すごく大事だと思った。</p> <p>概要版も 3 種類あるが、置いてあるだけでなく、小学生や中学生に面白いよ、と一言を添えることで、わかり</p>

	<p>3 議題 (事務局)</p>	<p>やすい版や概要版へと関心をもって見てもらうといいだろう。</p> <p>それでは、3 議題（1）瑞穂町子ども計画素案に対する意見募集結果について、事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>（1）瑞穂町子ども計画素案に対する意見募集結果について</p> <p>※（資料1）『瑞穂町子ども計画素案に対する意見の概要と町の考え方』を用いて説明を行う。</p> <p>令和7年1月17日から31日までの期間に、瑞穂町子ども計画素案に対する意見募集を行った。1名の方から意見をいただき、意見を整理した結果、20件の内容となった。事務局としても、出来る限り反映したいと考え、対応方針を資料1にまとめた。</p> <p>意見を取り入れる部分について、説明させていただく。</p> <p>No. 1では表紙に親子のみずほまるのイラストをとの意見であったが、親子ではないが、みずほまるのイラストを使用する。</p> <p>No. 5については、住民基本台帳の推移と国勢調査の推移が混在しているため、内容が別であり、比較できるような形で修正を行う。</p> <p>No. 7は計画書の12ページに東京都、区部、市部、瑞穂町の出生率の比較だが、郡部や島しょを入れたらどうか、という意見である。島しょとの比較は難しいとの判断から、郡部のみを追加する形で修正を行う。</p> <p>No. 9は計画書13ページ、合計特殊出生率の説明が必要では、との意見である。こちらには合計特殊出生率の説明を追加する。</p> <p>No. 12は計画書52ページに「みずほ学への取組」を入れたらどうかとの意見である。52ページに「地域との連携」の冒頭に『ふるさと学習「みずほ学」を通じて』という一文を追加する。</p>
--	-----------------------	--

	<p>(関連部署職員)</p>	<p>No. 16 と No. 17 はまとめたの回答になるが、この計画ではお腹の中にいる時から今回からは若者ということで 39 歳くらいまでを定義しているため、計画の冒頭で対象年齢についての一文を追加する。</p> <p>No. 19 では、留学のための補助金制度の内容も盛り込んだらどうかとの意見である。計画の 49 ページ②「子ども・若者の活動・社会参画の確保」の 2 番目として「海外留学奨学資金等支給制度の利用促進」を追加する。</p> <p>意見募集の他に、計画に対する意見が事務局に寄せられているため、紹介させていただく。</p> <p>関連するページは計画の 73 ページ。こちらに明記されているわけではないが、障がいのある子どもたちへの意見をいただいた。小学校から中学校に進学する際、ひかり学級から通常級となった場合にうまく馴染めないケースも考えられる。計画には障がいのある子どもたちへの支援を推進する旨が明記されているので、近隣で情緒障がい学級を設置する学校等があれば、実情を把握するなどして町でも検討してもらえないか、という意見をいただいた。</p> <p>瑞穂町の情緒障がい特別支援学級は、対象を小学校 3 年生から 6 年生までとしている。自閉症・情緒障がい児への指導を 4 年間で焦点化している。その理由としては、自閉症・情緒障がいのお子さんたちは、知的な遅れはない。知的障がいのお子さん場合は（ケースにもよるが）障害者手帳が得られ、卒業後も福祉のサポートを得られる場合がある。知的な遅れのない自閉症・情緒障がい児のお子さんたちは、15 歳の春になったら、確実に、自分で高校の進学先、就職先での自立を求められる。9 年間、特別支援学級で通ったお子さんが 15 歳で急に自立を求められても、いかななものか、という考えである。</p> <p>小学校 1・2 年生で小学校生活における不適応があった場合、その困難の克服の視点、改善の手立てを探り、3 年生から 6 年生までの間で、自分なりに強み・弱みを把握し、中学校での特別支援教室や教</p>
--	-----------------	---

		<p>育支援補助員のサポートを受けながら、自立を目指します。小学校でも中学校でも情緒障がい学級を設置してほしいという意見があることは承知しているが、中学校の通常学級の中で試行錯誤するのか、15歳の春にご自身だけでつらい状況の中で自立を求められるのか、どちらがいいのかと考えた場合に、中学校で特別支援教室などを利用しながら、教育支援補助員と連携し、通常学級の仲間とともに学ぶことで、社会的な（自立に必要な）資質能力を義務教育のうちに身に付けてほしいということで、ひかり学級を小学校3年生から6年生までを対象にして、中学校では今のところ設置しない、という考え方である。</p> <p>（事務局）</p> <p>もう1点、意見がある。計画書の56ページに「若者フリースペースの提供」に関連する。瑞穂町子ども計画では対象年齢が青年期までに及んでいる。フリースペース作りで精いっぱいだと思うが、障がい児家庭における18歳の壁問題から取り組むのもありではないか。選択肢が少なく大変という話も聞くが、瑞穂町基幹相談支援センターが1日も早く充実し、障がい者の家庭に豊富な情報を届けられるようになることが早急に求められている、という意見をいただいた。</p> <p>担当である福祉課から、障がいのあるお子さんで、学校の卒業時に障がい福祉サービスにつながらず、引きこもり状態となってしまう方がいることについては、障がい施策を協議する自立支援協議会でも課題として挙がっている。青年期の居場所づくりについては、障害者計画との整合性に留意して取り組んでいく、という回答をいただいている。</p> <p>説明は以上である。</p> <p>（委員）</p> <p>町の中には障がいのあるご家庭の集まりがいくつかある。実際のその親御さんがその説明を受けて納得している家庭が多いのか。把握しているか。</p>
--	--	---

	<p>(関連部署職員)</p> <p>(委員)</p> <p>(関連部署職員)</p> <p>(委員)</p> <p>(会長)</p>	<p>教育指導課に問合せがあった場合には、今のことをわかりやすく説明させていただいている。就学前のお子さんを持つ保護者の方を対象とした保護者説明会を先日も実施し、理解を求めている。</p> <p>反対の意見や困るという意見は出てこないのか。</p> <p>困っているし、小学校1、2年生や中学校でも設置してほしいという意見は承っている。その際には同様の説明をさせていただくことで、繰り返しの問い合わせをいただくことはない。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>事務局から説明があった意見を、瑞穂町子ども計画案へ反映するという事によろしいか。</p> <p>(一同同意)</p> <p><b>(2) 瑞穂町子ども計画案について</b></p> <p>※ (事前配布資料) 『瑞穂町子ども計画 (案)』『瑞穂町子ども計画概要版、わかりやすい版、やさしい版』『瑞穂町子ども・若者の生活実態調査報告書』を用いて説明を行う。</p> <p>事務局より説明があったが、何か質問はあるか。</p> <p>概要版が見やすくなったと思う。概要版に現状値を掲載されたが、現状値が低いところから70%まで持って行くという決意が見られる。</p> <p>目標値は、国が示している目標値である。委員がおっしゃったように、瑞穂町が低い部分もあると思うが、国の掲げた目標値にできるだけ近づけるように各施策を推進していくためにも、目標値として設定させていただいた。</p>
	<p>(事務局)</p>	

	<p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(会長)</p>	<p>現状値と目標値との落差がドキッとした。一番大事な「こどもまんなか社会の実現」はこれからのものなので、伸びしろも大いにあるだろう。次回の計画策定の際には現状値が70%を超えるような数字になっているといい。</p> <p>感想などでもいいが、何かあるか。</p> <p>小学生の娘に「やさしい版」を見せてみた。アンケートの意見などを色々と述べていたが、やはり「こどもの権利」を知らなかった。「将来の希望」については、今まで聞いたことがなかったが、将来の夢を聞いた。学校では楽しく勉強ができているのか、相談先を知っているか、などを改めて聞いてみた。この資料を見ながら、子どもと色々な話ができた。</p> <p>資料を基に、家族で話し合っていくと、より深まってくることができて、いい経験になる。</p> <p>きれいに読みやすくなったという印象である。</p> <p>資料1で留学補助の話があったが、瑞穂町独自で行っていることが他にもあるかと思った。</p> <p>26ページの児童虐待の状況について。瑞穂町については、相談の連絡件数になっているので、虐待と判断できた数がわかればいい。</p> <p>毎年、子ども家庭支援センターでも把握していると思うので、担当部署に相談させていただく。</p> <p>それぞれの担当部署で、他にも瑞穂町独自のことがあるのであれば、掲載を検討してほしい。</p> <p>修正反映したものを関係各課で最終確認をし、完成へと進めていってほしい。</p> <p><b>(3) 第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況報告について</b></p>
--	--	--

	(事務局)	<p>※(事前配布資料)『第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況管理票』を用いて説明を行う。</p> <p>時間のない中、皆様から頂いた質問が2点ほどあるので、回答させていただく。</p> <p>病児・病後児保育の施策に関する質問。2年連続で目標・課題が「数値の徹底」となっている。子を持つ親としても知らなかったもので、ネットやアプリ、SNS等を使用してアピールした方がいい。という意見である。</p>
	(関連部署職員)	<p>病児保育の実施周知について。周知媒体として、ホームページ、令和6年5月号の広報、窓口でのチラシ配布「子育てほっとブック」への掲載、子育てアプリでの配信を3月から7月まで月1回、8月以降は実施状況が得られていない。</p>
	(事務局)	<p>24ページ、放課後子ども総合プランの推進に対する質問。令和5年、6年とも課題も抽象的であるので、課題の「関係各課」とはどこなのか、どのように構築していくのか、具体的に教えてほしい、という意見である。</p>
	(関連部署職員)	<p>「放課後子ども教室」を社会教育課で行っている。国と東京都の目標では、学童保育クラブとの連携となっている。学童クラブは有料で、放課後子ども教室は無料であるため、同じ児童が参加していないという状況が課題となっている。関係各課との連携というのは、学童保育クラブ担当の子育て応援課との調整、放課後子ども教室は学校を使用するために学校教育課との連携、学校の授業やプログラムへの影響もあるために教育指導課との連携が、それぞれ必要となるため課題としている。</p>
	(会長)	<p>事務局より説明があったが、何か質問はあるか。</p>
	(委員)	<p>26ページの「地域で子どもを育てる環境づくりの</p>

	<p>(関連部署職員)</p> <p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(関連部署職員)</p> <p>4 その他</p>	<p>推進」について。課題に「子ども会連合会活動を支援するとともに、子ども会の少子化及び保護者負担増による加入者の減少」がある。子ども会が休止や無くなるのが増えていく中で、自分が住んでいる地区の子ども会が、一昨年2世帯、去年3世帯、今年5世帯と増えた。どうやって増えたのかを確認したら、同じ学年ではなくても親同士の仲が良く、働いている親もいるし、日曜日に働いている親もいる。子ども会活動は土・日曜日に実施することが多いが、親が参加できなくても助け合っている。入っている親が心苦しくない、他のところで頑張っていると、増えていった。またサポートする側（町内会）もサポートしてくれる。増えている子ども会もあることを広めていったらと思う。</p> <p>委員のおっしゃるとおり、この課題は数年続いている。毎年3月に存続している育成会で集まって情報交換する中で、成功例などを共有して広めていきたい。</p> <p>学校評価なども年度の終わりに集中している。全てを見るのは大変だが、興味のあるものを中心にみていくと、目標や進捗など、新たな意見がでてくると思う。</p> <p>放課後子ども教室の話で、計画書の19ページに放課後子ども教室の概要があるが、種別の「校内交流型」と「連携型」とあるが、なにが違うのか。</p> <p>放課後子ども教室と学童保育クラブが連携を国と東京都が進めているところ。行政的な呼び方ではあるが、「校内交流型」は同じ敷地内に学童保育クラブと放課後子ども教室があるが、二小と四小の放課後子ども教室は学校から離れているため「連携型」という呼び方になる。</p> <p>今年度最後の会議なので、委員の皆さんに一言ずつお</p>
--	--	---

	<p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p>	<p>願いたい。</p> <p>若い世代の委員の意見を聞いてよかった。周知についても、ホームページと広報だけでなく、SNSを活用した周知も必要だとわかった。</p> <p>具体的な意見を聞いてよかった。こども計画を周知していくのに、概要版も3種類あるので、職員への周知も伝えやすくなった。子どもたちに啓発するのに、24%しかないので学校現場からも発信していきたい。</p> <p>とてもいい計画になったと思う。保育の現場でも、よりよい結果が得られるように実行していきたい。わかりやすい計画になったので、職員にも周知していきたい。</p> <p>私は学童に携わっているが、学童関係では、達成度が厳しかったので心苦しい。教育委員会も含めて色々なところと連携していかないと、学童も発展していかないと思うので、連携を進めていきたい。若い委員の意見も勉強になった。</p> <p>上の子が保育園から小学校にあがったときに、保育園とのギャップと仕事との両立、子どもが早く帰ってくるための不安などがあった。この会議で情報を得られたことがありがたかった。次は学童を退所した後、放課後の過ごし方が親としては不安である。子どもの成長を見つつ、子どもが元気に外で遊べる環境を作ってほしいし、安心して安全な遊びに行ける場が増えたらいい。また、下の子の進学時には、より良くなっているといい。</p> <p>委員会に参加するきっかけが、児童館に遊びに行ったときに勧められた。難しいこともあったが、子ども会にも興味をもったし、学童が長期休暇中の時間が延びたことや、妊婦歯科検診の個別健診など、</p>
--	---	---

		<p>希望していたことの達成感などがあって、参加してよかった。次の世代の方も参加する機会してみたほうが良いと思う。</p> <p>(委員) 瑞穂町の地元ではなかったので、子どもができるときに、瑞穂町が何をしてくれるのかが分からないことが一番の不安だった。親になったタイミングで、どうやったら子どもを育てやすいのかを色々と考えた時期だったので、会議に出て、得るものが多かった。小学生になった時の委員の意見も聞いたので、いろいろ気付くこともできた。より良くなってほしいと改めて思った。</p> <p>(委員) 子育ては1人・2人でするものではなく、みんなでするもの。保育研修でも、保育所は社会的親だという話や、子育てをする仲間の大切さを感じる2年間でした。</p> <p>子ども会やわんぱくクラブを楽しそうにしているのをみると、取りこぼさない意味で、社交的ではない保護者のつながりが、とても大事だと思った。</p> <p>今回、ネットでの回答ができるようになって、海外のルーツを持つ方も回答がしやすくなり、町でも進めていける第1歩となったのは、すばらしい。</p> <p>(事務局) 第1回から第8回までの子育て会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。町が普段行っている子育て施策について、フィードバックできる場で貴重な意見をきかせていただいた。</p> <p>それらを参考に、より良い子育て施策を展開していきたい。</p> <p>(会長) その他、事務局から。</p> <p>(事務局) 認可保育所の定員変更についての報告がある。</p> <p>(関連部署職員) 令和7年4月1日から長岡保育園から定員変更したい旨、報告があった。変更前が合計68名、変</p>
--	--	--

	<p>5 閉 会 (会長)</p>	<p>更後が 61 名。内訳としては、0 歳児が変更なし、1 人児、2 歳児が 1 人増、3 歳児が 1 人減、4 歳児が 3 人減、5 歳児が 5 人減となっている。町としては、過去 3 年の実績を鑑みて、定員変更を認める方向で、事務手続きを行っていく。</p> <p>最後に貴重な意見を聞いてよかった。</p> <p>計画ができ、実施していく部分では PDCA サイクルの中で、常に見ていくだけでなく、我々が情報発信元となって瑞穂町子ども計画を伝えていけたらと思う。</p> <p>本日はこれをもって瑞穂町子ども・子育て会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	-----------------------	---